



三珠中学校
学校便り

礎

ishizue

令和5年6月29日
文：校長 丹沢伸也

6月ももう終わりに近づいてきています。2週間前の木曜と土曜には、3年生の部活動の集大成となる峡南地区中学校総合体育大会が行われました。今年から、県総体の参加がオープン参加となったため、多くの部が7月まで活動は続くわけですが一つの区切りとなりました。

現在は、ちょうど今日から行われている期末テストに向けて、学習に力を入れて取り組んできたところで、終了後は、7月10日に予定されている「青洲高校の合唱を聴く会」の機会に、今年の希珠祭の合唱曲の指導を青洲高校の先生にお願いすることから、来週から合唱の練習にも取り組む予定です。この日はオープンスクールとなっているので、「都合をつけてご参観ください」。

峡南地区総体開催

多くの部も健闘しました



また、6月29日には新体操の県選手大会が小瀬で行われ、本校からも2年生女子の生徒が参加し健闘しました。

7月頭からは卓球、剣道、水泳等の県選手権が行われ、7月25日から県総体が行われます。3年生にとっては最後の大会となります。夏季総体まで残り1ヶ月を切りましたが、最後まで悔いの残らぬよう取り組んで欲しいと思います。

6月15日(木)と17日(土)の2日間、峡南地区総合体育大会が行われました。結果は下の通りとなりました。



小中合同引き渡し訓練実施

もしもの大地震発生に備えて



6月21日(水)、震度5弱を想定した地震避難訓練と小中合同引き渡し訓練を行いました。

○震度5以上は引き渡し
三珠中学校では、震度5以上の地震が発生した時には保護者への引き渡しをお願いすることとなっています。震度5という地震は、あまり経験無いわけですが、日本全国で発生した地震のニュースを見ると震度5を超えることも度々あり、「決して起こらない」とは到底言えません。

○南海トラフ地震は震度7
これから先30年以内に7割から8割の確率で発生が予想される南海トラフ地震では、県の想定だと市川三郷町の最大震度は7となっています。万が一そういった状況になっても、訓練の通り引き渡しができるように保護者にもご協力をお願いしたいと思っています。地震の強さによっては、社会インフラも被害を受け、メールや電話等での連絡がつかないことも十分予想されます。町の防災無線やラジオ、テレビ等可能な手段で情報を把握するとともに、学校から連絡が来なくても、震度5以上の強さだと確認できた時点で、学校に引き取りに来ることを承知しておいてください。

また、遠方にとり、交通渋滞等で状況によりすぐに学校に来ることができないことがあるかもしれませんが、引き渡しができるまで学校で預かることとなります。



第2回生徒集会

全校合唱曲の紹介も



6月19日(月)、第2回生徒集会が行われました。定例の執行部からの話、委員会からの連絡に加え、この日は、総体の結果について各部署からの報告と、これから全校で取り組む合唱曲の紹介と各パートのリーダーの紹介も行われました。

○全校合唱曲「ほらね」
今年全校で取り組む合唱曲は「ほらね」という混声4部合唱です。この曲は、東日本大震災のあと、歌で日本をつなげよう、歌で被災地を応援しようという企画された「歌おろし」のNIPPONプロジェクトのために書き下ろされた作品だそうです。作詩は合唱指揮者の伊東恵司さん。合唱を愛する二人が心を込めて作ったこの作品は、震災の被災者にもとより、現代社会の中で傷ついた多くの人々の心を癒やしてきた、そんな曲だそうなんです。コロナ感染症対策が緩和され、本格的に全校合唱に取り



取り組むことができるのも4年ぶりとなります。コロナ禍前は、希珠祭、合唱発表会で全員が心を一つにし、体育館が震えるような力強く迫力ある発表がありました。そんな姿を再び見ることができ、ことを期待したいところです。集会の後半では、今年の執行部の「全校の交流を深めたい」という思いを反映し、縦割り班ごとになって執行部の作ったクイズの答えを競う時間がありました。短い時間でしたが、全校生徒盛り上がり楽しめていたようでした。こんな執行部の新しい試みも、とても良いと思います。



希珠太鼓の取組

太鼓を使って練習開始

6月23日(金)より、3年生の希珠太鼓の練習を三珠歌舞伎資料館横の森のふれあい館で始めました。三升歌舞伎の練習となりましたが、実際に太鼓を叩いての練習は初めてだったので、生徒達も大変意欲的に取り組んでいます。まだ4回目の練習ですが、次第にリズムも叩けるようになってきました。当日の発表を期待したいところです。



全校で夏の植栽を行いました

6月23日(金)の放課後、全校生徒と職員で夏の植栽を行いました。例年ですと、この時期に地区の陸上記録会があり、陸上に参加しない生徒が学校に残って作業をしましたが、今年度は記録会が開催されないことから、全校生徒で行うこととなりました。これまで、園芸委員が中心になって、前の花の撤去、土作りを行い、この日はプランターへの土入れ、苗の植え付けを行いました。植えた苗は、マリーゴールド、ペンタス、日々草、ペチュニア等です。花が撤去されてからしばらくは殺風景だった学校の玄関前が生徒のがんばりで再び華やかになりました。

